



相差保育所と船津保育所で7月8日、園児を対象にしたエコ体験学習会が行われました。県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」も参加し、ごみの分別や水についての紙芝居を読んでもらったり、「みんなで減らそうCO²」を歌いながら踊ったりして、楽しくエコについて学びました。

7月9日にはあおぞら保育所でも学習会が行われ、園児は実際にごみの分別を体験しました。

楽しくエコを学んだよ



6月26日、相撲を通して交流を深めるとともに体力の向上を図ることを目的に、市内の小学校10校から4年生以上の男女167人が参加し、平成22年度鳥羽市小学校相撲大会が新装された中央公園相撲場で行われました。

雨天ではありましたが会場に詰め掛けた各学校の応援団や父母らが見守る中、小学生力士たちは個人の部・団体の部で熱戦を繰り広げました。

一瞬で勝負が決まる試合もあれば、1分以上の駆け引きの末、プロさながらの投げ技で決まる試合もあり、会場は大いに盛り上がりました。

はっけよーい、のこった!!

まちの話題 1月号



7月1日～7月31日、一丁目の「手作り工房きらり」で、人形の創作活動に励む鈴木愛子さん(池上町)の創作人形展が開かれました。

人形展には、繊細に表現された創作人形8体が展示されました。創作人形は、石粉粘土で人形の土台を作り、その人形に和紙や布を張ったり、色付けをして完成となります。

鈴木さんの少しでも鳥羽の文化の充実に関わればという強い思いが、この人形展の開催につながりました。

繊細に表現された人形



国崎町の前の浜で7月1日、伊勢神宮に献上する「熨斗あわび」にするためのアワビを採る御潜神事が行われました。

白い磯着を着た海女さんが海土潜女神社を参拝し、太鼓の合図とともに一斉に前の浜に潜りました。磯笛を吹きながら、約40分アワビを採りました。

採れたアワビは、浜の近くの伊勢神宮御料鮫調製所へ運ばれ、伝統的技法を受け継いだ長老たちによって熨斗あわびが作られました。

伝統文化を伝えるために